

久喜市で男女共同参画の推進に貢献された方について
～歌人・濱^{はま}梨花枝^{りかえ}氏について～

(1) 生涯について

本名：榎本^{えのもと}美佐夫^{みさお}氏（生没 1912（大正元）～1998（平成10）年）

- ・埼玉県行田市に生まれ、19歳の時に榎本善兵衛氏（のちの初代久喜市長）と結婚し、4男1女を育てる。
- ・与謝野晶子へ弟子入りし、青遠短歌会を設立。歌誌「青遠」を創刊。埼玉県歌人会常任理事や数々の歌壇選者を務め、女流歌人として活躍した。
- ・久喜音頭や、久喜市立本町小学校、久喜東中学校、青毛小学校、県立浦和東高校の校歌を作詞した。
- ・埼玉県立博物館協議会委員、埼玉県教育放送企画委員、県立久喜図書館協議会初代議長、埼玉県図書館協議会副会長、埼玉県総合行政施策審議会委員などを務め、県立図書館の久喜市への誘致にも尽力した。
- ・久喜市文化団体連合会会長、久喜市市史編纂委員、久喜市総合文化会館経営管理委員会委員などを務め、久喜総合文化会館建設にも注力した。

(2) 男女平等（男女共同参画）の推進について

- ・1978（昭和53）年に【埼玉県婦人問題協議会】委員に委嘱され、埼玉県の女性の地位向上に関する計画等を審議し、男女平等施策の推進に貢献した。
- ・前述のとおり多くの協議会、審議会の委員を務め、社会参画による地域貢献の影響は多大であると考えられる。

【埼玉県婦人問題協議会】

1978年に埼玉県で発足。「婦人の地位向上に関する埼玉県計画」の策定に向け試案の検討、答申を行うなど知事の諮問に応じて男女平等の推進に関する重要事項を審議する機関。この組織が現在の【埼玉県男女共同参画審議会】につながっている。